

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第2回武蔵村山市農業振興計画策定検討委員会
開 催 日 時	平成29年1月11日（水）午後1時30分から3時30分
開 催 場 所	さくらホール会議室
出席者及び欠席者	<p>出席委員：北 沢 俊 春 東京都農業会議事務局長（委員長）  今 安 典 子 東京都農業振興事務所農務課課長代理  高 橋 誠 武蔵村山市商工会事務局長  山 田 和 男 武蔵村山市農業生産組合組合長  乙 幡 雄 司 武蔵村山市農友会会長  荒 幡 善 政 認定農業者  下 田 智 道 認定農業者  鈴 木 寿 子 武蔵村山市消費者団体連絡会  小 暮 保 東京みどり農業協同組合村山支店支店長  高 下 慎 吾 ダイエー武蔵村山店副支店長  高 梨 和 人 公募市民  永 村 清 市 公募市民  細 野 敏 彦 公募市民</p> <p>事 務 局：協働推進部長 比留間 毅 浩  協働推進部産業観光課長 児 玉 眞 一  協働推進部産業観光課主査 井 上 ひとえ  協働推進部産業観光課主事 石 川 彰 彦</p>
議 題 等	<p>1 開会  2 議題  (1) 武蔵村山市農業振興計画策定検討委員会の会議の公開に関する運営要領について  (2) 武蔵村山市第三次農業振興計画策定にかかる市民及び農業者アンケート調査報告書（案）について  (3) 武蔵村山市第三次農業振興計画策定にかかる基礎調査（中間報告）について  (4) 武蔵村山市第三次農業振興計画策定スケジュール（案）について  (5) その他  3 閉会</p>
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載す	<p>(1) 武蔵村山市農業振興計画策定検討委員会の会議の公開に関する運営要領について  ・委員会で議論されていることが市民に広く知られるよう努める。  (2) 武蔵村山市第三次農業振興計画策定にかかる市民及び農業者アンケート調</p>

<p>る。)</p>	<p>査報告書（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の分析を加える。前回のアンケートとの比較を行う。</li> <li>・年齢別の集計表を加え、50歳未満は一括りにする。</li> </ul> <p>(3) 武蔵村山市第三次農業振興計画策定にかかる基礎調査（中間報告）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3ページの図は、文章全体を説明する図とする。</li> <li>・センサデータの更新。データの扱いに注意</li> <li>・都市農業特区の記述は削除</li> </ul> <p>(4) 武蔵村山市第三次農業振興計画策定スケジュール（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回委員会は、2月20日の週に開催する。</li> </ul> <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議録については、今週中に確認し修正等があれば事務局へ連絡する。委員名の記載については、他の委員会等の扱いと同様とする。</li> </ul>
<p>審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。）</p>	<p>1 開会</p> <p>（事務局）高山委員はインフルエンザのため欠席。議事進行は委員長にお願いする。</p> <p>（委員長）暮れに税制改正大綱が決定し、国会に関係する法案を提出すること。都市農業に関係することでは、生産緑地の下限面積の引き下げと相続によって下限面積を割ってしまった場合の対応などが検討されるのではないかと。相続税については、貸した場合の対応は先送りとなったようだ。</p> <p>（事務局）当日配布資料の会議録について、内容について確認いただき、修正等があれば今週末までに連絡いただきたい。</p> <p>（委員長）委員の名前の表記についてはどうか。</p> <p>（事務局）他の委員会を確認のうえ、同様の扱いとする。</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 武蔵村山市農業振興計画策定検討委員会の会議の公開に関する運営要領について</p> <p>（事務局）資料1 武蔵村山市農業振興計画策定検討委員会の会議の公開に関する運営要領について説明。</p> <p>－質疑・意見等－</p> <p>（委員）会議録の公開について、市民への連絡等を行っているか。市のホームページに掲載しているだけか。知らない人がほとんどだと思う。</p> <p>（事務局）市の会議関係の公開しているページに、会議録を掲載している。会議の開催についても、開催を告知するページに掲載している。</p> <p>（委員長）皆さんにも、口コミなどで広めてほしい。市民の方に関心を持ってい</p>

ただくよう取り組んでいく必要がある。運営要領についてはよろしいか。

(了解)

(2) 武蔵村山市第三次農業振興計画策定にかかる市民及び農業者アンケート調査報告書(案)について

(事務局) 資料2 武蔵村山市第三次農業振興計画策定にかかる市民及び農業者アンケート調査報告書(案)について説明

—質疑・意見等—

(委員) 事実だけで報告書とするのではなく、読み取れることを書き込んでいかか。7ページの交流が少ないが、畑の少ないエリアで臨んでいる傾向があるとか、読み取れる書き込みが良い。

(事務局) 読み解いた内容は入れていないが、考察できたことを入れたほうがわかりやすい。捉えられることは次につながる課題になっていく。全体としてこういうことが伺える、という特筆できるようなことを分析として入れたい。

(委員) 51ページ、有機栽培の定義について、認定されていなければ有機栽培ではないので、その辺を理解して回答されているか懸念がある。

(委員) 農業者アンケートの目的をみると、10年間の計画を作るためであるが、回答者の半分以上が70歳以上であり、的確に把握できているとは思えない。後継者、認定農業者、50歳未満などの意向を把握すべき。

(事務局) 来年度、団体ヒアリングを行う予定であり、その中で認定農業者などを対象に意向等を聞いていきたい。

(委員) 農業者のアンケートのほうで、年齢別の集計があればわかりやすいと思う。

(事務局) 若年層の回答者が2人なので、50代まで一括りにしないと集計に耐えない。回答している方は息子さんの場合もあると思うので、難しいところがある。50歳までで括った集計をする。

(委員) 10年前のアンケートと項目が同じで、計画に使えるような設問については比べて、概要に入れていただきたい。

(事務局) 設問ごと、概要など、入れたかたを検討する。

(3) 武蔵村山市第三次農業振興計画策定にかかる基礎調査(中間報告)について

(事務局) 資料3 武蔵村山市第三次農業振興計画策定にかかる基礎調査(中間報告)について説明

－質疑・意見等－

(委員) 3 ページ、健康増進計画・食育推進計画は、入れないのか。

(事務局) 国が定めている都市農業基本計画、東京都の農業振興基本方針など、文章を図に表現する。また、各計画の中でどういう記述があるのか、箇条書きでも加えたい。

(委員) 認定農業者について知らない人も多かった。どういう形で増やしていこうと考えているか。また、メリットは。

(事務局) 5 年後に 300 万円以上を目指す、ということが認定農業者の対象となるが、50 歳以下の農業者の組織である農友会で PR したり、農業委員による農業者への PR などを行い、増やしていこうと考えている。メリットとしては、5 年後の農業に向けた計画を考え、経営を改めて考えることがメリットであり、さらに、東京都の補助金の事業についても認定農業者であることが条件というものもある。

(委員) 高度経済成長の中で農家数が減少する中、やめたい農家も多い中で資源を投入してきた。認定農業者は、これからやっていこうという農家に資源を与えていく、というもの。農業者アンケートは 10 アール以上の農家を対象にしており、やめていこうとする農家は興味もなく、見ることもない。

(委員) 先を考えてやっていかなければいけない、というのが一つの目安である。やっていきたいという人は減ってきているが、若い人の中には農業をやっていこうという人もいる。

(委員) メリットとしては、市や都の支援を受ける際に、認定農業者限定のものがある。アンケートの回答者の中には、農地を貸してしまっている人もいる。販売もしていない農家も多い。こういう方はそういう情報を知らないだろうし、知ろうとも思っていないと思う。

(委員) 認定農業者は、生き残るための、やる気のある人のためのものだと思う。認定を受けない人は、今後、農業をやろうという気持ちのない人だと思う。制度自体、いつまで続くかわからないが。

(委員) 東京都で 1 万人くらい農家がいる、認定農業者は 1,500 人程度といわれている。その方たちの産出額が多い。

東京都は農地が少ないので、農地を維持するだけでも大切であるが、ばらまくわけにはいけないので、資源の集中化、効率化、費用対効果など考えていく。武蔵村山市では、多くの方に認定農業者になっていただいているが、市民に周知をしている市もあるので、その様な取組も考えられる。

(委員長) どの企業も経営計画をつくるが、農家も経営改善計画を作成し、自分のビジョンをつくって、何かをやろうと。それに対して、行政が支援を行う。

(委員) 6 ページなど、直近のデータが平成 22 年になっているので、新しいセン

	<p>サスのデータに更新してほしい。</p> <p>(委員長) この中間報告が計画の柱になってくると思うが、国や都の動向は参考なので、最後に整理してはいかがか。</p> <p>(事務局) 基礎調査は、計画のたたき台となり、第2次計画に沿った形で整理していく予定である。</p> <p>(委員長) 17 ページ、都市農業特区の提案は2年前に東京都が出したものであるが、現在は、農業振興基本法の中で解決していくこととしているので、入れなくてよい。入れるとすれば、今年から動き出した指導農業士を入れてはどうか。3 ページの都市農業振興計画の地方計画としての位置づけがあることは重要である。</p> <p>(委員) 4 ページの農業従事者は、アンケートでは10 アール以上であったが、こちらの基準は。</p> <p>(委員) 農業の従事日数で区分していると思う。普段主に農業に従事している人である。</p> <p>(委員長) 武蔵村山市の農業像を、きちんと整理したほうがいいと思う。</p> <p>(委員) 瑞穂、立川、東大和の農家も、市内の農地を所有している。</p> <p>(事務局) いろいろな数字が統計上あるが、わかりにくくなる面もあるので、間違いではないと思うが、わかりやすいよう整理したい。</p> <p>(委員長) 農業振興計画の立ち位置によって書き方が変わってくると思う。全体像だけだとぼやけてしまう。</p> <p>(4) 武蔵村山市第三次農業振興計画策定スケジュール (案) について</p> <p>(事務局) 資料4 武蔵村山市第三次農業振興計画策定スケジュール (案) について説明</p> <p>— 質疑・意見等 —</p> <p>(事務局) 次回委員会は、2月20日の週で正副委員長と調整のうえ決定する。</p> <p>(5) その他</p> <p>(事務局) 委員謝礼について、源泉徴収票を作成し今月中に送付予定である。</p> <p>3 閉会</p>
<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p>■ 公開 <span style="float: right;">傍聴者： <u>0</u> 人</span></p> <p><input type="checkbox"/> 一部公開</p> <p><input type="checkbox"/> 非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div>

